

第3回学校運営協議会を開催しました 11/21(月)

<第一部>

1. 前期学校評価について

生徒、保護者アンケートを基に、前期の取組について学校の担当者より報告がありました。中間評価を経て、後半よりよい方向へ向かうための改善策、要望等について協議を行いました。

<報告内容>

- 1) わかる授業の実践と学力の向上の状況について
- 2) 特別活動を中核とした自主的、自治的な活動の推進の状況について
- 3) 健全な自尊感情の育成の状況について
- 4) その他（「中学校生活は楽しいですか」など）



<委員からの意見>

- ・ 家庭学習時間について目標の数値に達成していないとあるが、「時間」だけでなく質的な向上をはかることが大事ではないか。
- ・ 家庭学習について、自らの考えや目的をもって取り組むところまではいっていないと思う。授業の中で興味を持ち、それを深めるために家庭学習を行うような流れになってほしい。（なぜ、どうして?→こうなるんだ、という気付き→自ら学習する。）
- ・ 日常の授業のあり方について、生徒にとっての学習課題の提示がなされていることが大事。今日の授業でどんなことがわかればいいのかを知ることにつながる。

まとめ→教師主体のまとめにならないようにすることが大事。

振り返り→自分にどんな力がついたのか。わかった、できるようになった事は何か。課題とセットであるとよい。



- ・ ICTの活用については毎授業の振り返りをiPadに積み重ねていったらどうか。振り返りの蓄積→家庭学習に生かす→次の授業への興味関心。家庭学習が次の授業、学習課題に結びつくものであってほしい。
- ・ 画面でデータを見るよりも、自分で紙面にまとめの方が学びが定着しやすい。デジタルとアナログ両方の良さをうまく生かしていく必要がある。

- ・ 特別支援教育について、個別の支援計画がどのように活用されているかデータ化することで、全職員間で情報共有できるような仕組みが作れるといい。
- ・ 「自分にはよいところがあると思うか」「学校生活は楽しいか」などに関するアンケート項目は、特に肯定的評価が減少傾向にある。活動の場や関わる人間が制限される中、工夫してやってきたが、今後は職員、保護者、地域の人との関わりを徐々に増やしていきたい。

2. 協議内容をもって次年度学校運営の基本方針への要望とする

3. 次年度の教職員の任用への要望

- ・ 不登校傾向の生徒への対応、一人一人の生徒の不安や悩みに寄り添える環境等を整えるためにも、増員を強く働きかけてほしい。

<第二部>

4. 学校保健委員会（生徒会保健委員長、保健副委員長参加）

健康三原則weekの実施から振り返る（健康三原則とは栄養・睡眠・運動）

保健委員長、副委員長より、9月3日～20日に行った活動内容について報告がありました。

○「7時間以上」の睡眠が取れている生徒は7割以上いたが、「6：30起床」ができた生徒は20%～30%と目標を達成出来なかった。

○ほぼ毎日「バランスの良い朝食」を心がけている生徒は7割を超えていた。

○「積極的に体を動かす」の項目は3年生が少なくなっていた。

○メディアの利用については、土日だけでなく平日もYouTubeやゲーム、スマホなど2時間以上メディアに接する生徒が多く、2時間以内は各学年とも10%台だった。



<委員の皆さんからの意見>

- ・ 目標とする家庭学習時間と必要な睡眠時間を考えると、現実問題でメディアに関われる時間はどのくらいになるか？無理のないすり合わせが必要と思う。
- ・ 健康三原則という視点がとても良い。
- ・ 睡眠不足による身体への影響、視力が落ちる原因など、知っておくこと、知識を持つことは大切。
- ・ 全校生徒で結果を共有することも大切だが、不調の時や困ったことを大人に相談する活動も考えてほしい。
- ・ メディアに時間をとられることによるデメリットを伝えるより、メディアをやらなかった時のメリットを伝える、考えるのも大事ではないか。
- ・ メディアが自分の調子を上げるきっかけを与えてくれることもある。メディアの良さとデメリットを考え、自分で折り合いをつける、線引きできるようになってほしい。
- ・ NOメディアdayあるいはNOメディアtimeに取り組んでみる。例えば週一回午後9時以降はメディアにふれない日を全校で一斉に取り組む提案をしてみるのもいいのではないか。

閉会の挨拶に寄せて（神立委員）

- ・ 個性を重視した教育内容になっていることがよくわかった。今後、地域がどう関わっていくのか、どんな手助けをしていったらいいのか考えていく必要がある。

